

## 薬価基準点数早見表

令和5年4月版

3月発刊予定

定価 本体 3,800 円+税(税込 4,180 円) A5判 約1,100頁

ISBN978-4-7894-0233-0 C3047 ¥3800E

商品 No.120037

藥價基準

54



薬価基準収載全医薬品を、50音順に配列し、薬価を表示  
見やすくシンプルでひきやすい、実用早見表の決定版！

- 内用薬・注射薬・外用薬・歯科用薬剤の順番に、商品名・薬価はもちろん、規格単位や製造・販売会社名等を一覧できます。
  - 診療報酬上評価される後発医薬品、使用期限別の経過措置品目の情報もひと目でわかる、実用早見表の決定版です。
  - 一般名処方が広がる中、配合剤についても一般的な名称等を記載します！また、薬剤選択の参考となるよう同種同効品の代表的薬剤の名称も記載しています。
  - 付録として薬効分類番号順に一覧できる薬効別分類表や繁用点数早見表も収録した納得の情報量です。薬効別分類表は刷新し、同種同効品の比較がよりしやすくなりました。
  - 追補情報を[社会保険研究所ウェブサイト](#)上で迅速・無料で掲載しています（[薬価追補サービス](#)）。

### 薬価追補サービス

発刊後の追補情報を無料で提供!

薬効・薬価リスト

## 藥価基準点数早見表

保險藥事典Plus<sup>+</sup>

- 社会保険研究所ウェブサイトに、上記書籍についての追補情報を掲載いたします（エクセルデータ）。ダウンロードもできます（無料）。
  - あらかじめご登録いただきますと、掲載のたびに「お知らせメール」をお送りいたします。
  - ご登録は無料です。登録、および登録の解除は隨時受け付けます。
  - 詳しくは、上記書籍をご覧ください。

追捕情報の対象となるのは…

発刊後、官報の薬価基準告示で新たに収載された医薬品です  
追捕情報の掲載内容は…

新医薬品、報告品目、後発医薬品、経過措置品目等です  
掲載項目は…

薬剤区分(内・外・注)、商品名、一般名、規格単位、薬価、会社名です

掲載日は…

官報告示後すみやかに掲載します

掲載回数は…

年間20~30件ほどです

ANSWER

# 医科点数表Q&A集

令和5年4月改正対応!

令和5年4月版

4月発刊予定

定価 本体 8,000 円+税(税込 8,800 円) B5判 2色 約1,200頁

ISBN978-4-7894-0711-3 C3047 ¥ 8000 E

商品 No.160701

医科点数表Q&A集

..5.4.

出版実験室

医科点数表のQ&A集の完全保存版! いまとある疑義解釈ぜんぶを1冊に  
令和4年度改定後に発出された最新の疑義解釈を収載。算定や請求に大活躍!  
過去のQ&Aについても充実! デジタル化されていない貴重なQ&Aも多数収録

- 厚生労働省から発出される事務連絡のうち、医科点数表に関するQ&A(疑義解釈)を集成しました。
- Q&A集としての機能に特化した書籍で、コンテンツはいずれも資料価値の高いものです。
- 点数表書籍の定本「医科点数表の解釈」発刊以降も多くのQ&Aが発出されています。令和5年の本書発刊直前の最新のQ&Aまで、あますところなく収録しております。また、過去の事務連絡で、Q&A形式ではないものの、点数表の理解に不可欠な疑義解釈についても掲載しています。
- 第1章では、より正確な算定や請求、レセプト審査に資するよう、区分番号単位で該当するQ&Aを配置。左欄にQ(問)、右欄に対応するA(答)のシンプルかつ機能的なレイアウトで、項目ごとのQ(問)の検索に優れています。
- 第2章には審査支払機関における取扱いを収録。請求時に留意すべきタイムリーな情報を総合的に把握できます。
- 第3章では「Q&Aアーカイブ」として、平成14年度診療報酬改定以降のQ&A(医科点数表関連)をすべて収録。デジタル化されていないQ&Aも収載しています。さらに、廃刊となっていた当社の書籍「医科診療報酬Q&A(平成13年版)」を復刻し、全編を付録として収載しました。
- 「医科点数表の解釈」(20頁参照)はもちろん、「医科診療報酬点数表」(25頁参照)との併用も考慮しています。

## 本書の構成(予定)

■第1章 医科点数表Q&A 基本診療料／特掲診療料／介護老人保健施設入所者に係る診療料／特定保険医療材料／入院時食事療養及び入院時生活療養／療養担当規則関係／DPC／記載要領	○医科点数表(令和4年度改定)の区分番号ごとに整理 ○左に「問」、右に「答」のシンプルかつ機能的で、検索しやすいレイアウト ○令和4年10月適用の「看護職員処遇改善評価料」や「医療情報・システム基盤整備体制充実加算」についてのQ&Aも掲載
■第2章 審査支払機関における取扱い 審査情報提供事例／審査の一般的な取扱い／コンピュータチェックに関する公開	○審査支払機関(支払基金、国保中央会)から公表されている、請求時に留意すべきタイムリーな審査情報を整理して掲載
■第3章 Q&Aアーカイブ 平成14年度診療報酬改定～令和4年度診療報酬改定 疑義解釈資料	○過去20年分(平成14年度改定以降)のQ&Aが記載された事務連絡を原本通りに掲載 ○アーカイブ資料という整理のもと、極力原本通りに掲載 ○平成14年度改定～平成18年度改定のQ&Aについては初掲載。デジタル化されていないものも多く、資料的に価値の高い構成
■付録 復刻版「医科診療報酬Q&A」	○廃刊となっている当社発行の書籍「医科診療報酬Q&A(平成13年版)」の全Q&Aを掲載。発刊当時好評を博していたQ&A関連書籍の復刻版

「医科診療報酬Q&A」  
を全編収載!  
貴重なアーカイブ資料  
が多数!





## この1冊で今後の医療DXの方向性がわかる待望の新刊！ 令和5年1月から運用が始まる電子処方箋と、4月から原則義務化されるオンライン資格確認の現在をQ&A含めてわかりやすく解説 医療DXに関連する診療報酬についても掲載

- 医療DXとは、「保健・医療・介護の各段階において発生する情報やデータを、全体最適された基盤を通して、保健・医療や介護関係者の業務やシステム、データ保存の外部化・共通化・標準化を図り、国民自身の予防を促進し、より良質な医療やケアを受けられるように、社会や生活の形を変えること」と定義できる（厚生労働省）とされています。
- 本書は、2030年をターゲットとした医療DXの方向性やスケジュールを見通すとともに、医療DX推進の基盤となる「オンライン資格確認」、「電子処方箋」、「マイナポータル」などについて、Q&Aを含めてわかりやすく解説しています。
- 医療DXが進むと医療機関・薬局はもちろん、マイナンバーカードを利用した被保険者証（マイナ保険証）など患者（被保険者）や保険者にも多大な影響を与えます。本書では医療DXの現状とその未来図がわかるので、興味のあるどなたでもご参照いただけます。
- 医療情報・システム基盤整備体制充実加算の評価および算定期要件の見直し、医薬品の安定供給問題を踏まえた診療報酬上の特例措置（令和5年4月～12月）についても掲載しています。

### 本書の構成（予定）

- I 医療DXと診療報酬  
全国医療情報プラットフォームの創設、電子カルテの標準化等、診療報酬改定DX  
令和5年4月からの「オンライン資格確認導入の原則義務化」  
医療情報・システム基盤整備体制充実加算 など
- II 電子処方箋／III オンライン資格確認／IV マイナンバーカードとマイナポータル（マイナ保険証）

